

ワシントン大学 短期語学研修報告書

北海道教育大学札幌校 2年 柿本健吾

○授業について

テキストを用いた文法の学習、クラスメイトとの対話によるスピーキングの学習、映画鑑賞を通じた日本とアメリカの文化比較、大学構内やシアトルの街を舞台としたフィールドトリップによる課外学習が行われました。

・テキストを用いた文法の学習と対話練習

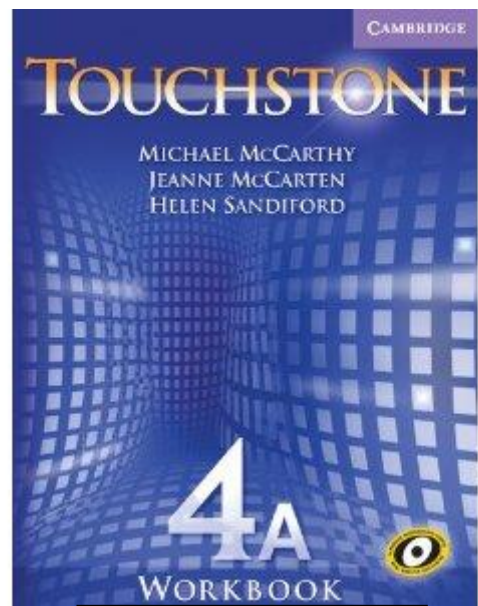
今までの英語の学習の内容はもちろん、英語独特の言い回しや、会話表現などを学習しました。また、テキストで学習した内容をクラスメイトとの対話練習によって確認できるという構成でした。基本的には、近くの席と人とグループを作りますが、週の初めの月曜日には、クラスメイトが二列に分かれて並び、二人一組で対面し、その後一つの列が横にずれ別のペアで同じ内容の対話をするという形も取りました。すべての対話練習において、同じ内容を繰り返し話すことで英語を流れるように話すこと・fluencyが意識され、また意識するように指導を受け実践していきました。

授業では手を挙げて発言することはなく、学生側から積極的に発言していました。これからこのプログラムに参加しようと考えている方は、教育大で開講されている外国語コミュニケーションを少しレベルアップさせたようなものであると捉えてもらえればわかりやすいかと思います。

・映画鑑賞による文化の比較



「Sleepless in Seattle」という映画を、授業の中で15~20分くらいずつ鑑賞しました。舞台がシアトルなので、フィールドトリップや放課後に訪れた場所が映画の中に出てくるということもあり、とても観やすく感じました。運転のシーンや食事のシーン、また親子の関係など、いたるところに日本との違いを見つけることができ、それについても授業の内容としてクラスメイトと意見を交換するという形式でした。日本に住む私たちは主観が日本人の目であり、また日本という国を広く見るということはあまりな



授業で使用したテキスト

と思います。なので、このような機会でも、アメリカと日本との比較に加え、日本人同士でも違いがあるということを実感し、アメリカに来ることで日本を客観的に見ることができたと思います。

・課外学習



初日は、大学構内を三つに分かれたクラスごとに歩き回り、担任の先生に案内してもらいました。フィールドトリップでは、校内にある博物館や、バスに乗って少し遠くの博物館まで行き、与えられた課題をこなして次の日にクラスメイトと情報を共有するというスタイルでした。また、**Fremont** という町へ出かけ、その町でシンボルとなっているいくつかの建造物や

銅像などを、道を歩いている人に聞いて探すというアクティビティもありました。これらは午前中に授業の一環として組み込まれているもので基本的に全員が参加しました。

課外授業とは異なりますが、毎週火曜日と木曜日の午後にアクティビティが設けられていて、こちらは参加するかしないかは自由でした。スターバックスの一号店に行ったり、一人では行く気も起きないほど大きなショッピングモールにも大勢で行くことができたり、目的地に着けばあとは自由行動なのでお土産を買うこともできました。



○シアトルでの生活

大学は敷地がとても広く、正直教育大学とは比べ物になりません。食堂や売店のメニューも充実していますし、ボウリングやテレビゲームができる場所もありました。また、学校からすぐそばの通りには、タイやメキシコ、インドなどの料理を提供しているレストラン街のようになっていて、中には日本料理（ラーメン、弁当など）を売りとしている店もありました。いつも食べている日本の料理と比較してみても面白いかも知れません。このことからわかるように、シアトルという都市はとても多国籍、diversity であると言われ

ています。ワシントン大学にも様々な国の学生がいると感じました。その中でも、アジア系の人が多いようで、道を歩いているときやバスに乗っているときでも中国人を多く見かけました。自分がステイしていた家の隣にも中国人の留学生が二人いたので、シアトルがどれだけ住みやすい街かということをお話していると思います。

三週間のプログラムだと、自由に使える週末は二回あるので、そのどちらかでシアトルを出てみることをお勧めします。毎日の放課後出かけていけば、シアトルの街の主要な部分は大体わかってきます。なので、週末を利用して遠出してみるといいと思います。定番は Canada だと聞いていましたが、自分は Pendleton の工場で安く買い物がしたかったので、一泊二日で Portland へ行きました。Canada は自然が豊かであるのに対し、Portland はショッピングの街といえると思います。Portland は買い物に税金がかからないので、買い物をしたいのなら Portland へ行くことをお勧めします。

・日本人と一緒にいることで普段の会話は日本語が飛び交いがちです。英語を積極的に使うことはもちろんですが、それに加えて日記をつけることをお勧めします。自分はその日買い物した分のレシートを全部取っておいて、スケッチブックの見開き左側にレシートや写真などを貼り、右側に英語で日記を書くことにしていました。英語力の向上という点でも効果的だと思いますが、なにより日本に帰ってきてからその日記を見返すことができる、記録に残すことができるという点でとてもいいことだと思います。アメリカでの限られた時間で何ができるかを考えてこのプログラムに参加するといいいと思います。



Pendleton Washougal mills の直営